



真っすぐに伸びた道が、軽便鉄道のなごり。

Cycling Spots

サイクリングスポット



軽便鉄道が通っていたトンネルも走ることができる。



当時は、この場所に軽便鉄道が走っていた。



岩に打ち付ける波も間近に。天気の良い日は、海の向こうに四国が見える。



海

道

観

海が一望できる
ロケーション



めいび
風光明媚な大分市の海岸線も、市の大きな魅力の一つです。
ここでは、潮風を受けながら美しい景観を楽しめる、
海岸沿いのサイクリングロードを紹介します。



さがのせきサイクリングロード

今回ご紹介した、市内のサイクリングロードが掲載された「おおいた自転車マップ」は、都市交通対策課（本庁舎7階 ☎537・5690）で配布しています。これからの季節、サイクリングを楽しみたいという人は、ぜひ参考にしてください。

もう一つ、海岸線を楽しめるルートが「さがのせきサイクリングロード」。ここは、昭和38年まで運行していた軽便鉄道の廃線敷を使ったサイクリングロードです。真っすぐに伸びた道や海岸線に沿った道、当時のままのトンネルや橋などを走れば、ひと昔前にタイムスリップした気分。途中には、サイクル・ハブの「道の駅さがのせき」もあります。

道の駅から東は海岸線が続き、眼下に広がる海と、波の音、潮の香りを感じながらペダルをこげば、気分もリフレッシュ。佐賀関港まで走れば、国道九四フェリーに乗って愛媛県へ行くこともでき、上級者になると大分市から四国のしまなみ海道まで、自転車とフェリーで行き来する人もいます。

鉄道の廃線敷と
潮風香る海沿いを
走る



潮風さわやかシーサイドルート

先導的な景観形成の役割を担うことが期待されています。休日になると、美しい海岸線の景色をバックに、思い思いの時間を過ごす人たちにぎわいます。

東別府から西大分まで、国道10号（別大国道）沿いに設置された、約7キロの歩行者・自転車道の「潮風さわやかシーサイドルート」。山と海を眺めながら走ることもできる海岸沿いのルートです。道沿いにある田ノ浦ビーチは、夏場は海水浴場としてもにぎわうスポットで、サイクリングの途中で休憩を取る人も。ビーチ中央のセンターハウスには、専用の自転車置き場があり、「サイクル・ハブ」と呼ばれる、サイクリングを楽しむ人に優しい施設になっています。西大分地区のかんたん港園は、海を一望できるロケーションが人気です。別府湾を背景に恵まれた自然環境を有していることから「大分市景観計画」において重点地区として位置付けられており、

山の緑と海の青
豊かな自然を体感